施策評価（令和7年度）

戦略3 観光・交流戦略			
目指す姿3 文化芸術の力による魅力ある地域の創生			
幹事部局名	観光文化スポーツ部	担当課名	文化振興課
評価者	観光文化スポーツ部長	評価確定日	令和7年7月31日

1 施策（目指す姿）のねらい（施策の目的）

秋田の文化芸術に対する若者等の関心が高まり、次の世代の担い手が確保されることにより、地域の伝統芸能等が維持・継承された魅力的でにぎわいのある地域の実現を目指します。

2 施策の状況

2-1 成果指標の状況及び定量的評価

	施策の方向性、指標名(単位)	年度	2019 (R元)	2020 (R2)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	直近の 達成率	配点	備考
①	【施策の方向性①～③】 文化事業への来場者数(人) 出典: 県調べ	目標			135,000	270,000	360,000	455,000	112.0%	4	
		実績	450,445	54,435	277,888	523,376	403,173				
		達成率			205.8%	193.8%	112.0%				
②	【施策の方向性①～③】 あきた芸術劇場で開催される大規模イベント・興行数(件) 出典: 県調べ	目標			42	42	42	42	392.9%	4	
		実績	—	—	98	198	165				
		達成率			233.3%	471.4%	392.9%				

※ 指標の判定基準

4点: 達成率 $\geq$ 100% 3点: 100% $>$ 達成率 $\geq$ 90% 2点: 90% $>$ 達成率 $\geq$ 80%
1点: 80% $>$ 達成率 $\geq$ 70% 0点: 70% $>$ 達成率 n: 実績値が未判明

定量的評価結果	計算式
4.00 (a 相当)	4点 × 2個 = 8点 1点 × 0個 = 0点
	3点 × 0個 = 0点 0点 × 0個 = 0点
	2点 × 0個 = 0点
	合計 8点 ÷ 2個(判明済み指標) = 4.00

※ 成果指標において実績値が未判明となった指標がある場合には、それを除いて平均点を算出する。

※ 定量的評価の判定基準

a相当: 平均点が3.6点以上 b相当: 平均点が3.2点以上3.6点未満 c相当: 平均点が2.8点以上3.2点未満
d相当: 平均点が2.4点以上2.8点未満 e相当: 平均点が2.4点未満

2-3 主な取組状況とその成果

<p>【施策の方向性① あきた芸術劇場を核とした文化芸術の発信とにぎわいづくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> あきた芸術劇場ミルハスにおいて、県主催事業として多様なジャンルの公演等を開催したほか、集客力のあるアーティストやコンベンション等を誘致し、文化芸術の鑑賞の機会を提供するとともに、地域のにぎわい創出につなげた（大規模イベント・興行数165件）。 県出身の実力派音楽家と若手音楽家等によるコンサート（来場者1,327人）を開催し、質の高い音楽の鑑賞機会を提供するとともに、施設の一層の認知度向上を図った。 あきた文化情報サイト「ブンカDEゲンキ」及びFacebookにおいて、県主催事業やあきた文化交流発信センターのイベント情報等を随時発信した。「ブンカDEゲンキ」のページビュー数は112,929回、Facebookのリーチ数は9,326回、YouTubeチャンネル再生回数は114,866回であった。 <p>【施策の方向性② 文化芸術活動の促進と次代を担う人材の確保・育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「芸術選奨」（3人）、「ふるさと文化賞」（1人）を贈り、優れた活動を顕彰した。また、「青少年音楽コンクール」（参加者延べ141人）を開催したほか、文芸活動の普及、振興を目的として広く県民から文芸作品を公募し、受賞作品を掲載した作品集「あきたの文芸」を刊行した（応募作品225点）。 「アーツアーツサポートプログラム」では、文化芸術活動の成果として美術作品や演奏等の発表を希望する若手アーティストを募り、展覧会、演奏会、ダンス公演の開催を支援（アーティスト4人、来場者716人）した。 県北、県央、県南の各地域において小中高生及び一般県民（参加者645人）を対象に行った音楽活性化アウトリーチでは、プロの演奏家による演奏会や吹奏楽部等に対する技術指導を行った。また、美術活性化アウトリーチでは、県央地域において小中高生等（参加者168人）を対象に、美術作品の鑑賞、解説、ワークショップ等により美術への関心や理解を促す講義を行った。 <p>【施策の方向性③ 文化芸術を通じた交流人口・関係人口の拡大】</p> <ul style="list-style-type: none"> 国内外から優れた音楽家を招いた「秋田・潟上国際音楽祭」（来場者1,292人）、秋田の伝統行事を体験できる「あきた無形民俗文化財万博」（来場者858人）を開催し、県内外からの多くの来場者に本県文化の魅力を発信した。 県内の文化団体が行う集客力が高く交流人口拡大に資する取組に対して助成を行った（6件）。 県内を代表する劇団わらび座と連携し、県外公演において、伝統芸能の披露や資料展示、秋田の文化の魅力を紹介するパンフレットの配布（20万部）等を行ったほか、ミルハスにおいて東北の祭り等をモチーフとしたナンバーバル（非言語型）のミュージカル（来場者4,452人）を上演した。
--

3 総合評価と評価理由

総合評価	評価理由
a	<p>成果指標の達成率を基にした定量的評価は4.00で「a相当」であることから、総合評価は「a」とする。</p> <p>【定性的評価として考慮した点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・

4 県民意識調査の結果

質問文		国内外に秋田の文化芸術の魅力が伝えられている。					
満足度		調査年度	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	前年度比
満足度	肯定的意見		16.6%	16.5%	16.0%		△0.5
	十分 (5点)		1.8%	2.1%	2.5%		+0.4
	おおむね十分 (4点)		14.8%	14.4%	13.5%		△0.9
	ふつう (3点)		41.9%	32.1%	37.0%		+4.9
	否定的意見		32.0%	42.8%	37.0%		△5.8
	やや不十分 (2点)		20.2%	27.2%	24.8%		△2.4
	不十分 (1点)		11.8%	15.6%	12.2%		△3.4
	わからない・無回答		9.5%	8.5%	9.9%		+1.4
	平均点		2.72	2.56	2.66		+0.10

※端数処理の関係で満足度の割合の合計は100%にならないものもある。

5 主な課題と今後の対応方針

施策の方向性	課題	今後の対応方針
①	<ul style="list-style-type: none"> ○ ミルハスは開館から3年が経過し、施設や設備点検などのメンテナンス日も増加する中で、利用者数や稼働率を高水準に維持していく必要がある。 ○ 各種SNSや動画配信サイトのトレンドを踏まえた訴求力の高い情報発信が不足している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ミルハスを適切かつ効率的に管理運営するとともに、優れた音響特性などを最大限にPRし、質が高く集客力のある公演等を開催・誘致していく。 ○ 公式SNSやYouTubeチャンネルを活用した積極的な情報発信を行うほか、文化芸術活動を行う団体自らによる情報発信を促進するための支援を行っていく。
②	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文化芸術活動を行う個人や団体が固定化しており、世代や活動地域にも偏りが生じている。 ○ 人口減少や高齢化が進行する中、各地域で文化芸術活動の担い手が不足している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 優れた作品や活動に対する顕彰、文化団体が行う活動への助成などにより、幅広い世代や地域の県民が文化芸術活動に取り組みやすい環境づくりを進める。 ○ 東京藝術大学や秋田公立美術大学と連携し、音楽や美術の分野でのアウトリーチ事業の実施を通じて質の高い文化芸術に触れる機会を創出することにより、将来の文化芸術を担う若手の育成を図る。
③	<ul style="list-style-type: none"> ○ 交流人口や関係人口の拡大を図る上で、集客力の高い取組を行うことが可能な文化団体等が不足している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 交流人口や関係人口の拡大に資する取組に対して引き続き支援を行うとともに、取組事例の共有により、集客力の高い取組を行うことができる文化団体等の掘り起こしを図る。

6 政策評価委員会の意見

自己評価「a」をもって妥当とする。